

**使用説明書****動物用医薬品**

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

日生研ILT生ワクチン

(鶏伝染性喉頭気管炎生ワクチン (シード))

【製法及び性状】

本剤は、弱毒鶏伝染性喉頭気管炎ウイルスを SPF 鶏群由来の発育卵で増殖させ、その感染尿膜腔液及び漿尿膜乳剤上清に安定剤を加えて凍結乾燥したのち、減圧下で封じたものである。

乾燥ワクチンは、淡黄赤色の乾燥物で、添付の溶解用液を加えて振り混ぜると容易に溶解し、帯黄赤褐色の均質な懸濁液となる。

溶解用液は、滅菌精製水で、無色透明の液体である。

【成分及び分量】

ワクチン 1 本 (500 羽分) 中

発育鶏卵培養弱毒鶏伝染性喉頭気管炎ウイルス C7 株 (シード)	10 ^{6.7} TCID ₅₀ 以上
脱脂粉乳	150mg
ペプトン	300mg
ベンジルペニシリンカリウム	800単位
硫酸ストレプトマイシン	800 μ g(力価)

溶解用液 1 本 (15mL) 中

滅菌精製水	15mL
-------	------

【効能又は効果】

鶏伝染性喉頭気管炎の予防

【用法及び用量】

ワクチンに添付の溶解用液を加えて溶解したのち、付属の日生研点眼点鼻容器 (23 薬第 1043 号) を用いて、その 1 滴 (0.03mL) を点眼又は点鼻接種する。

【使用上の注意】**(一般的注意)**

1. 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
4. 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

(使用者に対する注意)

1. 誤ってワクチンが眼、鼻、口等に入った場合は直ちに水で洗浄すること。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通 感染症の 当否	微生物の 生・死	有無	種類
鶏伝染性喉頭気管炎 ウイルス	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

2. 作業時には防護メガネ、マスク等を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。
3. 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(鶏に対する注意)

1. 制限事項

- (1) 本剤の接種前には健康状態について検査し、重大な異常（重篤な疾病）を認めた場合は接種しないこと。
- (2) 鶏が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、接種の適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・元気消失、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状など臨床異常が認められるもの。
 - ・疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。
 - ・明らかな栄養障害があるもの。
 - ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
- (3) ワクチン接種後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。

2. 副反応

ワクチン接種後に呼吸器症状が見られる場合がある。

3. 相互作用

- (1) 本剤には他の薬剤（ワクチン）を加えて使用しないこと。
- (2) 本剤とニューカッスル病生ワクチン又は鶏伝染性気管支炎生ワクチン（混合製剤を含む）を同時に接種すると、ウイルス間の干渉作用により、ワクチンの効果が抑制されることがあるので、1週間以上の間隔をあけること。
- (3) 本剤接種前後24時間は、消毒剤や他の薬剤の使用を控えること。

4. 適用上の注意

- (1) 移行抗体価の高い個体では、ワクチン効果が抑制されることがあるので、接種時期を考慮すること。
- (2) ワクチン調製時には、清潔な用具を使用し、雑菌などを混入させないこと。
- (3) 点眼（点鼻）に用いる器具は、規定のものを使用すること。
- (4) ワクチンを接種する際には、鶏を保定する手指を消毒し、鶏の目に触れないこと。点眼点鼻用器具の先端部が、鶏の眼瞼に接触すると、菌の二次感染の原因になるので注意すること。
- (5) 点眼（点鼻）時には、1羽当たり1滴ずつ確実に点眼（点鼻）し、ワクチン液が眼（鼻）に吸収されるのを確認してから鶏を放すこと。

[取扱い上の注意]

1. 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂するおそれがあるので強い衝撃を与えないこと。
2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
3. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
4. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
5. 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
6. 溶解は使用直前に行い、溶解後は速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
7. 使い残りのワクチン及び使用済みの容器・点眼点鼻用器具は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

[保管上の注意]

1. 小児の手の届かないところに保管すること。
2. 直射日光又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。
3. 溶解用液は凍結すると容器が破損する場合があるので避けること。

注意—獣医師等の処方せん・指示により使用すること

[貯法及び有効期間]

1. 遮光して、10℃以下に保存する。
2. 有効期間は、製造後2年3か月間である（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）。

[包装]

- 1セット 500羽分（15mL溶解用液、点眼点鼻用器具添付）

[2013年8月改訂]

日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

1307SK15